



# VOLVO CAR JAPAN

Press Release

2017年12月14日

## スウェーデンの一般家庭がボルボ・カーズの 自動運転車の開発のサポートを開始

本プレスリリースは、12月12日スウェーデン本社発、プレスリリースの翻訳版です

ボルボ・カーズは、本日からスウェーデンの一般家庭の協力による自動運転車の開発を開始します。彼らはイエーテボリ市内の公道で自動運転車に試乗した感想をボルボ・カーズのエンジニアにフィードバックすることになります。



「Drive Me」プロジェクトに参加するイエーテボリエリア在住の最初の2組の家族、ハイン家とシモノフスキ一家には、すでにプレミアム SUV「XC90」が納車され、「Drive Me」をサポートしていきます。来年初めには、さらに3家族が加わり、その後4年間にわたり総勢100名ほどが「Drive Me」に関わる予定です。

※「Drive Me」プロジェクトとは:

スウェーデンのイエーテボリエリアの公道を走る大規模な自動運転実証実験。新しいインテリセーフ・オートパイロット・テクノロジーを搭載した「XC90」を将来的に総勢100名の一般ユーザーに提供し、開発のためデータの分析を行う。一般ユーザーが日常の交通環境下で走行することを実験の原則としている。

報道関係お問い合わせ先  
ボルボ・カー・ジャパン 広報部

両家族は、「Drive Me」に貴重なデータを提供することでプロジェクトに貢献することになります。彼らは、通勤、学校への送迎、スーパーへの買い物など、日々車を操作して走行させる一連のデータをボルボのエンジニアへ提供することを承諾しています。

ボルボ・カーズは 2021 年までに完全な自動運転車の発売を計画しています。「Drive Me」によるデータは、これらの自動運転車の開発において重要な役割を果たしていきます。

「このプロジェクトに関与することができて光栄です。いつか多くの命を救うテクノロジー開発に貢献できることを誇りに思います。」と、アレックス・ハイン氏(45 歳)は述べています。

「Drive Me」では、ドライバーアシストから最終的な完全自動テクノロジーまでの各段階をテストするため、一般ユーザーが携わります。

「Drive Me はボルボ・カーズの重要な研究プロジェクトです。」と、ボルボ・カー・グループ研究開発担当上級副社長のヘンリック・グリーンは述べています。「彼らの協力から得られる多くのデータを活かし、より洗練された自動運転テクノロジーの開発を行っていきます。これにより 2021 年までに完全な自動運転車を提供できると考えています。」

ハイン家とシモノフスキー家に納車されたボルボ XC90 には、最新の運転支援機能と家族の反応をモニターしたり、周囲の道路状況を記録する多数のカメラやセンサーが備え付けられています。

テストの初期段階では、2 組の家族は運転する際にステアリングホイールから手を放すことなく運転します。「Drive Me プロジェクト」の全ての参加者は特別なトレーニングを経て、次第により先進的な運転支援機能を持った車を提供されます。

この際にも、ボルボ・カーズの安全のエキスパートの指導のもと、安全が保障された環境でテストが行われます。安全面に少しでも問題があると思われるテクノロジーは、一切テストに導入されません。

ボルボ・カーズは、世界で最も安全な車をつくるメーカーの 1 つとしての地位を確立してきましたが、これまでの開発と同様の注意と徹底を、自動運転車の開発でも継続してまいります。

今年初めに「Drive Me」のテストに最初に選ばれたハイン家は、アレックスとパウラ夫妻(45 歳)、フィリップ(17 歳)、スミラ(14 歳)の 4 人家族です。

さらにサスコ・シモノフスキー(44 歳)とアンナ(41 歳)夫妻、エリン(10 歳)、ヴィリアム(8 歳)の家族も加わっています。今後のプロジェクト進行に合わせて、携わる家族が増えていく予定です。